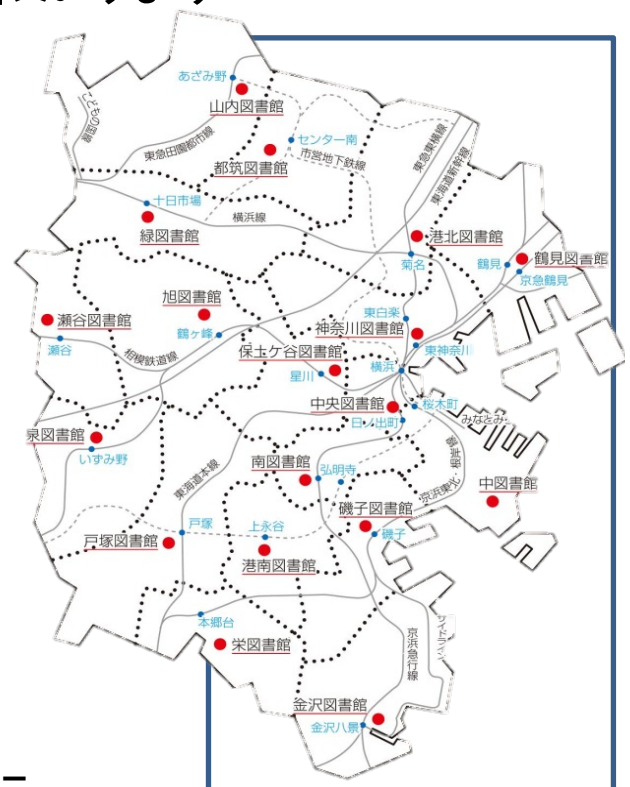
横浜市立図書館情報システム

平成6年に中央図書館が開館し、オンライン化達成！
市立図書館全18館の蔵書379万冊が一目瞭然！
今、その本が貸出中かどうかもわかります

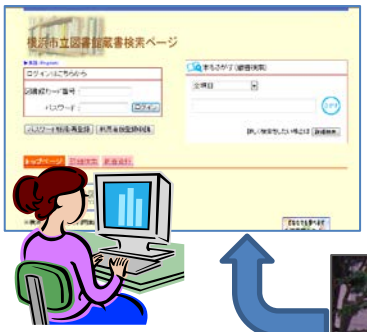
現在の図書館情報システムは、中央図書館にあるホストコンピュータが管理しています。市立図書館全18館にある379万冊以上の資料の「書誌」（資料のタイトルや著者名、出版社、内容など）と動態情報（1冊1冊の資料が、貸出中かどうかといった情報）を管理し、リアルタイムで図書館内の利用者用検索機やインターネット上の「横浜市立図書館蔵書検索ページ」に情報を提供しています。

この図書館情報システムを通じて、インターネットで資料を検索し、予約の入力をすることができます。予約の情報は、システムを通じて資料を所蔵している館に送られます。予約した資料が用意できると、メールなどでご連絡をいたします。



■情報と本の流れ（検索・予約をしたとき）

インターネット
横浜市立図書館蔵書検索ページ



検索・予約

中央図書館
ホストコンピューター

データの提供・管理

各市立図書館
（予約資料を所蔵している館）
資料を所蔵している館の端末に予約が入っている本の情報が届きます。

・予約が入っている資料を本棚から探して受取館に送ります。
・貸出中の資料が返却された場合には、予約が入っていることを端末が知らせてくれます。

■中央図書館書庫（120万冊収容可能）

受取館に資料が到着すると、ログイン時またはメールでお知らせします。

↑■中央図書館

市立図書館
（予約資料を受け取る館）
「連絡車」による各図書館間での資料配送

←■移動図書館「はまかぜ号」
※「はまかぜ号」の各ステーションでも予約の資料を受け取ることができます。